

## 新婚夫婦が記念植樹

6月6日（土）、平成27年度の結婚記念植樹祭が鶴寿公園で行われ、昨年4月から今年3月までに入籍した新婚夫婦10組がメタセコイヤの木を植樹しました。

相川町長は、『難を転ずる』とされるナンテンの苗木と県産ヒバの表札を出席した新婚夫婦に贈り、「楽しいにぎやかな家庭を築いてください」とあいさつ。新婚夫婦の皆さんが順番に、不死不滅とされるメタセコイヤの木の根元に仲良く土をかけました。

今年1月に入籍した工藤貴史さんと夏紀さんは「植樹祭は結婚の大事な記念。結婚記念日には毎年公園に立ち寄って、木とともに自分たち夫婦も成長していきたい」と思いを述べていました。



△仲良くメタセコイヤの木に土をかける新婚夫婦のお二人



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場総務課まちづくり班（内線264）までお知らせください。

## 勇壮!! 消防団観閲式

6月13日（土）、鶴田町消防団（下山正彦団長）の定期観閲式が行われ、消防団員、婦人防火クラブ員281人が日頃の訓練の成果を披露しました。

丹頂大通りでは、観閲者の相川町長らが団員の服装と姿勢を点検。続いて行われた分列行進では、消防団員、婦人防火クラブ員らが腕を肩の高さまで振り、足を高く上げ、観閲者に向かって「かしらー右!!」と敬礼し、それぞれが勇ましい姿を見せていました。

式典では、機械器具点検のほか、団員たちが放水演習やポンプ操法を披露。「ザッ、ザッ」と音を響かせる纏振りには大きな拍手が上がりました。

また、幼年消防クラブ員による演技では、つるのこ保育園の園児たちがポンプ操法を披露し、かわいらしくもたくましい姿を見せていました。



△迫力ある演技を見せた鶴田町消防団の纏振り

## 児童がお茶の作法を体験

6月16日（火）、水元中央小学校で社会科の授業の一環としてお茶教室が開かれ、6年生6人がお茶の作法を学びました。

お茶と和菓子を運ぶ班と食べる班に分かれた児童たちは、和菓子を食べた後に、運ばれたお茶を膝元まで寄せてから、「お手前ちようだいします」と言って飲む動作などを交互に行っていました。講師の中野京子さん（妙堂崎）は「お茶を出されたら、食べてる途中のお菓子を脇に置いて、冷めないうちに飲んでください」と児童にお茶の作法を教えていました。

児童たちは、慣れない動作に集中しながら、お茶の味と香りを楽しんでいました。



△講師の中野さん（左）から作法を教してもらいお茶を飲む児童



△お酒を片手に、みんなで仲良く乾杯!!

## みんなで楽しいはしご酒

6月19日（金）、町料理飲食業組合主催「つるたじょっぱりチャリティー酒まつり」が行われ、町内外から参加した約360人が、会場となった文化通りの飲食店で酒を楽しみました。

酒まつりは指定された5軒のお店を決められた順番に回り、すべてのスタンプを集めると、豪華賞品が当たる抽選会に参加できるルール。28回目となる今回の酒まつりには16軒の飲食店が参加協力し、約200点の賞品が用意されました。スタートの合図とともに、参加者たちはそれぞれ指定された店に一齐に向かい乾杯。スタンプを集めて、テレビや自転車、扇風機などの賞品を獲得していました。

## あるじゃで14周年記念感謝祭

6月20日（土）、21日（日）、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」で、開設14周年を記念して、当町が友好交流協定を結ぶ鹿児島県さつま町の特産品フェアと、県内外12の道の駅の商品を販売する全国「道の駅」フェアが開かれました。

イベントでは、さつま町産のカボチャやさつま揚げ、芋焼酎のほか、沖縄県のポゴールパインや新潟県のお米など全国各地の特産品が販売され、多くの買い物客で賑わいました。また、イベントに併せ、さつま町から紺屋一幸副町長らが来町。紺屋副町長は「他の道の駅との交流もでき、さつま町のPRにもなる。これを機に新たな展開が生まれることを期待したい」と話していました。



△さつま町産のカボチャは初日から大人気でした。